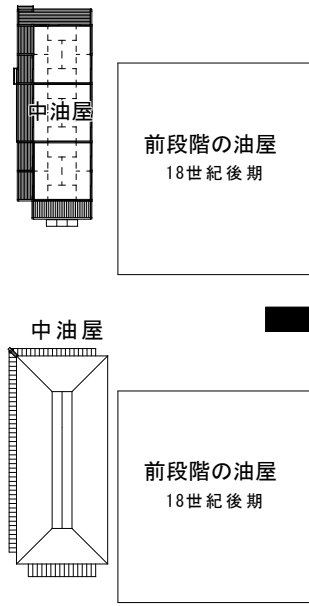


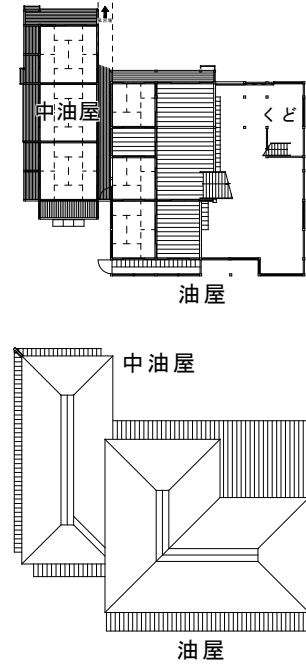
油屋と中油屋の時代変遷

A 嘉永二年（1849年）
中油屋完成時

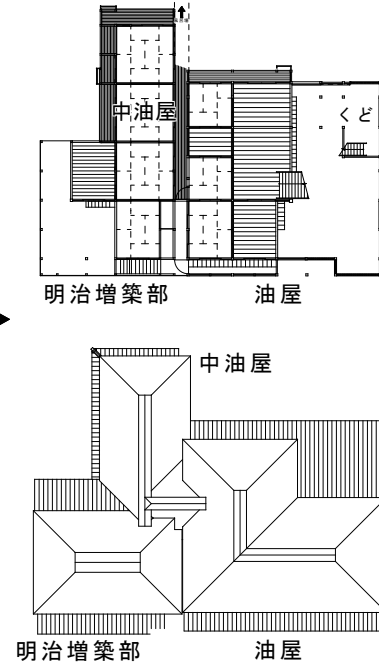


B 幕末（慶応頃）

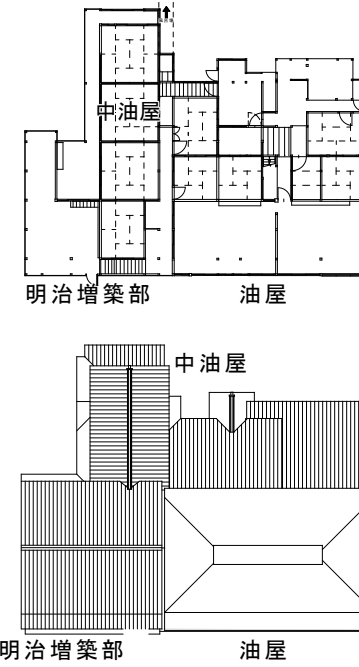
幕末、油屋は一度大規模な改修を行った可能性あり。基礎石はそのまま使用し、建物の部材は一度解体して組み直したような形跡がみられる。



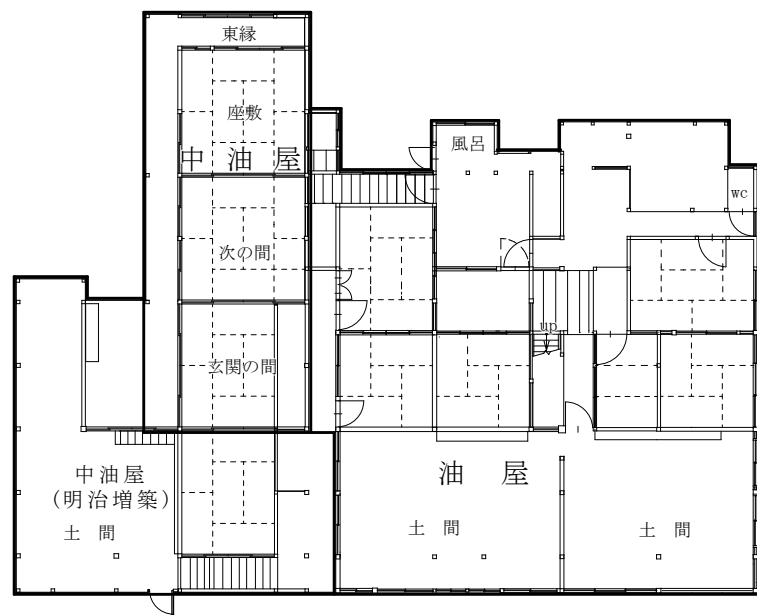
C 明治20年代～昭和20年代



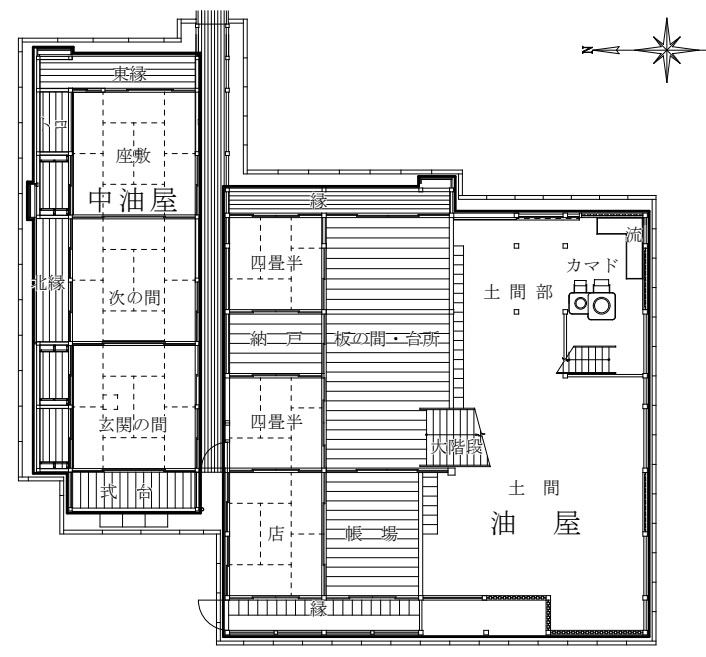
D 昭和20年代～平成21年



- 近年の出来事
- 平成22年度
小郡市観光資源古建築保存活用に係る人材育成委託業務
応急修理、破損調査、現状実測図面作成
- 平成23年度
7月30日 松崎公民館にて報告会
- 平成24年度
中油屋 解体調査・保管業務
8月より 中油屋の解体、部材の調査と保管
建築年代の判明、嘉永二年(1849)
8月25日 現場一般公開（解体着手前の様子）
11月22日 小郡市文化財保護審議会（解体調査報告）
12月26日 小郡市文化財保護審議会（復原案の審議）
- 平成25年度
中油屋 復原組立業務
5月より 復原設計
7月3日 小郡市文化財保護審議会
（活用・設備について審議）
11月22日 中油屋建築基準法適用除外認定
12月より 復原組立開始
- 平成26年度
中油屋 復原組立業務
7月26日 上棟式
7月27日 現場一般公開（復原組立の様子）
3月8日（平成27年）中油屋完成、開門式
- 平成27年度
油屋解体調査・保管業務
8月より 油屋の解体、部材の調査と保管
8月8日 現場一般公開（解体着手前の様子）
11月28日 現場一般公開（解体中の様子）
- 平成28年度
油屋 復原組立業務
4月より 復原設計
7月21日 小郡市文化財保護審議会
（解体調査報告と復原、活用案の審議）
12月2日 油屋建築基準法適用除外認定
12月より 復原組立開始
- 平成29年度
12月17日 上棟式・現場一般公開（復原組立の様子）
- 平成30年度
9月22日 現場一般公開（復原組立の様子）
3月 完成予定

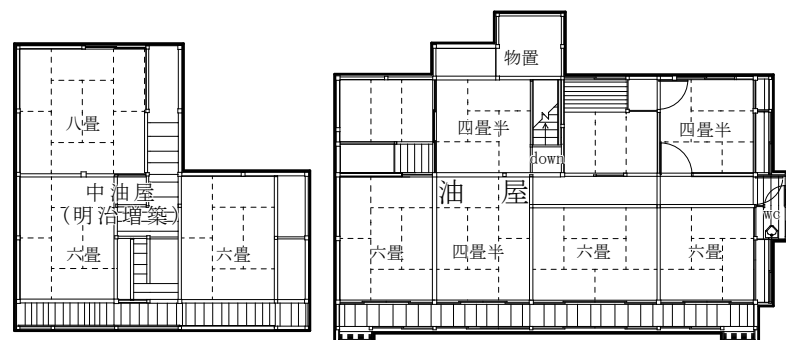


修理前1階平面図
(平成21年までの姿)

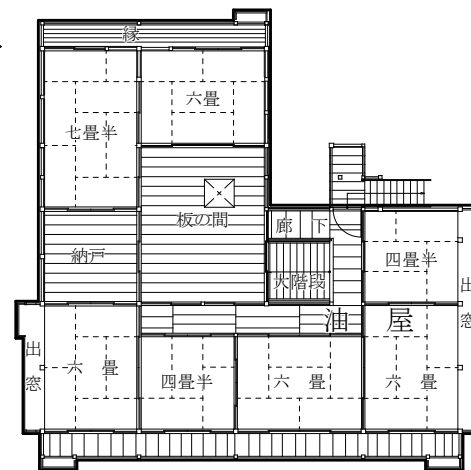


復原1階平面図
(来春完成の姿)

復原



修理前2階平面図
(平成21年までの姿)



復原2階平面図
(来春完成の姿)

幕末頃に復原 油屋復原要旨

1. 東背面部の下屋を撤去し、北側の居室部は2階建に復原する。南側の土間部は小屋組を当初に復原する。
2. 2階の小屋組を復原し、棟を角屋とした茅葺屋根とする。（ただし茅葺形鋼板葺に整備）
3. 建物中央に大階段と、背面下屋部に半間の階段を復原する。
4. 1階北側に六間取の居室を復原し、2階復旧部に板の間、納戸、七畳半、六畳、縁を復原する。
5. 土間南東寄りに竈と流を復原整備する。
6. 2階南面と北面の出窓を復原する。
7. 柱間装置を復原整備する。

中油屋復原要旨

1. 明治増築部材を撤去(保管)し、座敷を当初の姿に復原する。
2. 屋根棧瓦葺を扱首組の茅葺に復原する。（ただし茅葺形鋼板葺に整備）
3. 東面及び北面の下屋を、板葺として復原整備する。（ただし板葺形鋼板葺に整備）
4. 座敷部西面を玄関とし、式台を復原する。
5. 各柱間装置を復原整備する。（柱間装置とは柱間に設けられる壁、障子、板戸などのこと）